

エルム

エルム第2号

発行 / 医療法人北榆会
札幌北榆病院

編集 / 広報委員会
責任者 / 久木田和丘

発行 / 平成11年1月20日

呼吸器科新設

1月より診療開始

急性期医療ならびに専門医療を目指す当病院の課題として外来診療科の拡大充実があります。

この度、経験豊かな専門医師を招き呼吸器科を新設いたしました。

今までの診療科に加えて、9科となり、より専門的な、診断・治療技術の向上が可能となりました。

これからも当院は環境の変化の惑わされず、医療の原点に戻り本来の医療活動を行ってまいります。

医療機能評価認定証の 交付を受ける

当院は昨年、医療機能評価機構の訪問審査を受け、厳しい審議の結果全項

目について基準を達成しているとして認定証の発行を受けました。

当病院が受審した一般病院種別Bは「地域が必要とする各領域の医療において基幹的中心的な役割を担い、高度医療にも対応しうる一定の規模を有する病院」という区分で、

道内の病院では4施設目の認定となりました。

今後とも一層急性期医療への取組を基本に基幹病院としての役割を果たしてまいります。



医療機能評価認定証

札幌北榆病院の基本方針

- 1 患者さんに公正な医療を提供します。
- 2 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
- 3 患者さんの安全を保証し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
- 4 高度医療を積極的に推し進めます。

病院紹介シリーズ第2回 造血幹細胞移植

について

血をつくり出す細胞を「造血幹細胞」といいます。従来、「骨髄」にしか存在しないと考えられていましたが、好中球を増殖させる因子を使うと「末梢血」中にも骨髄

より遊走して行くことが明らかになり、更に、臍の緒より取り出された「臍帯血」中にも造血幹細胞が存在し、造血幹細胞移植に用いることができるようになりました。「骨髄移植」「末梢血移植」「臍帯血移植」の3

つを総称して造血幹細胞移植というようになりました。また造血幹細胞の提供者は同胞や他人で白血球抗原の一致した同種移植と、自分の細胞を保存して使う自家移植があります。どのタイプの移植にするかは患者さんの病気や状態によって決められます

造血幹細胞移植の対象となる疾患は、白血病、リンパ腫、再生不良性貧血、免疫不全症や、薬剤感受性の高い乳癌や睾丸腫瘍などがあります。患者さんの移植を受ける可能年齢は、疾患によっても異なりますが、50～60才程度までです。年齢が高くなると、合併症の頻度が高くなるためです。造血幹細胞移植では大量の抗癌剤療法や放射線療法で悪性細胞や免疫反応細胞を消去し、そこに正常な造血能力のある幹細胞を輸血で入れます。輸血した造血幹細胞は骨髄の中で生着し。増殖して2週間前後

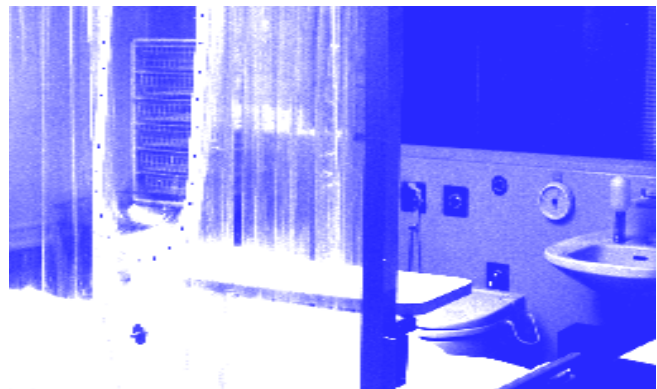


笠井 副院長

で白血球数として増加がみられます。白血球が増加するまでの2週間近くは、白血球数がほとんど無くなりますので、細菌や真菌感染で敗血症などを起こしやすいので外的な感染要因を防ぐために無菌室、無菌食という無菌管理下で過ごすこととなります。同胞や他人から移植（同種移植）時には、免疫反応が起きますので、一定期間（半年～1年）免疫抑制剤を内服します。

このような治療によって、従来「不治の病」といわれていた白血病の多数の方が治癒するようになりました。再生不良性貧血の方も小児なら85%くらいの確率で治癒しえます。

骨髄バンクを介した移植では、白血球の組織型が細かいところで異なる場合が多々あり、移植成績はまだ十分と這いえず、40～60%前後の生存率です。同種移植では提供される造血幹細胞が無いと移植はできません。現在は結婚年齢も高くなり少子化傾向で、同胞者に提供者を見いだすのは非常に困難となっていました。1991年12月より骨髄バンクが発足し、善意のドナーが多数協力して下さり、骨髄移植が推進されております。また、近年注目されている臍帯血移植も、現在、地域毎の臍帯血センターが協力して臍帯血ネットワークを形成して下さり、造血幹細胞移植の輪が広がっています。このように、造血幹細胞移



無菌治療室

植は、医療と国民の善意により、進化を遂げているのです。

札幌北榆病院副院長 内科担当

笠井 正晴

信頼される看護婦を 目指して！

当院では、患者さんの入院生活が、少しでも快適に過ごせるように、安全で安心して治療に専念できるように努力しております。皆さんが病院を選んで受診するとき、



夜のナースステーション

病気の事ばかりではなく色々な事を考えていただけることでしょう。

そのなかでも、医師や看護婦がきちんと自分の言いたい事を理解してくれるだろうか？とか、優しく対応してもらえるだろうか？など不安も多くあるでしょう。

今回は、皆さんが病院で一番身近に接する看護職員の勤務について、皆さんに知っていただきたいと思います。

1年365日、1日24時間、入院されている患者さんは何時の時間においても病気と戦っており、眠れない時を過ごされております。

また外来の患者さんも診療時間以外にも具合が悪くなったとか、急にいつもと状態が変わった等で、夜間や時間外に病院を訪れる方もいらっしゃいます。その患者さんを看護し、励まし続け、治療を継続する上

で、患者さんの一番身近にいて年末・年始や土曜・日曜もなく24時間交代で勤務しているのが看護部の職員です。当院の看護職員の勤務は3交代勤務です。患者さんの異常にいち早く気づき最善の対応ができるよう、夜中でも緊張しながら看護りつづけているのです。勿論病院には看護職員のほかにたくさんの職員が当直者として勤務しております。週末や祝祭日においても同様です。看護職員は患者さんの病気の状態の

観察や、治療上の処置・介助だけではなく、日常の入院生活に不便はないか等他の職員と連絡をとりながら毎日働いております。

当院の看護婦の数は、法律で決められているより多く配置しておりますが、一般社会でのお休みや夜勤も交代で働く形になるため、一番多く看護職員が集まる平日の勤務でも、病棟での日勤者として一般社会が働く時間に勤務する数は、半数くらいになります。

このため入院された経験をお持ちの方でも、看護婦の数が少なく思える事があったのではないかと思います。不規則な勤務状況の中ですが、私達は患者さんやご家族の方との対応に不足が起こらないよう仲間同士連絡を密にして努めております。いつも毎日の仕事が患者さんやご家族の役に立つことでありたいと願っております。

その気持ちが自分の仕事に向かう姿勢であり、得られる結果が仕事への充実感と、ひいては患者さんのためになると信じて、昼夜を問わない勤務の中で仕事に向かっています。安心して治療を受けられる様に、一日も早い社会生活を向かえられるため、入院・外来を問わず全ての職員が、みなさまの応援をしております。

看護部長：栗坪 睦子

病院食に

『季節の香り』

— 新春バイキング —

入院生活のなかにも季節を感じていただきたいとの趣旨で始めました“イベント



食 事 風 景

食”。好評をいただき1月には6回目を迎えました。バイキング形式により、自分の目で見て選ぶ楽しみを味わっていただきました。

今まで「イベント食」を召し上がった方々からは次のような感想を戴いております。

編集後記：

インフルエンザが猛威をふるっていますが、いかがお過ごしでしょうか。

本号でお知らせいたしました、医療機能評価は受審申込みから約一年後に認定を得ました。

認定病院としては「医療サービスの質の向上」が問われる事になります。「エルム」も誌面のさらなる充実をめざしています。

広報委員会では皆様のご意見ご希望をお待ちいたしております。 浜田・記

- ・次回も楽しみにしています
- ・楽しい夕食に満足いたしました。
- ・とても忙しい思いをしてくださってありがとうございます
- ・普段は億劫で病室で食事をしていたのですが気分が変わってよかったです。

と、大変好評のようでした。これからも皆様に喜んでいただける様な料理・企画を考えてまいります。なお、今回は3月3日に“ひなまつりバイキング”を予定しております。

入院中の皆様が“季節”を感じて下さればスタッフ一同幸いです。

栄養課

禁煙外来の設置

当院では呼吸器科の開設に併せて、禁煙外来を開始いたしました。予約制で毎週火曜日の午後の診療となっております。

禁煙に挑戦し何度も失敗している方、煙草による健康への影響を心配している方、等その不安を解消し、よりよい健康な生活環境を整えましょう。

当院では西暦2000年より全病院職員の禁煙を実施し、医療に携わる者自ら実践することにより患者さんの健康を考えてまいります。

医療法人北楡会 札幌北楡病院

診療科目：外科・内科・消化器科
呼吸器科・整形外科・眼科
歯科・麻酔科・放射線科

住所：〒003-0006

札幌市白石区東札幌6条6丁目

5番1号

TEL：011(865)0111